

9月4日 会田中登山振り返り学習の流れ(まとめ)

流れ

学習の様子・発言内容

2
限
目

登山の記憶呼び起こし

【8グループ：乗鞍・上高地の行動班ごと】
吉田先生：これから登山の振り返り学習を行う。

9:50

松島先生：写真で振り返ってみよう。

松島先生：グループごとに楽しかったことと、しんどかったことを1人ずつ発表して下さい。(8グループ同時進行)



写真での振り返りの様子

松島先生：各班の班長さんは、班で出た意見を発表して下さい。

1組1班

野外炊飯とキャンプファイヤーと宿泊体験が印象に残った。

1組2班

川がきれいだった、自然がたくさんあった。ケガがなく楽しくいけた。

1組3班

四賀とは違う部分があってよかった。

1組4班

木がいろいろな形をしていてすごいと思いました。

2組1班

自然がきれいで木や川にしっかりふれ合えたのでよかった。

2組2班

二日目の自然体験が楽しかった。

2組3班

水がキレイだった。キャラメルがおいしかった。自然に学べた。

2組4班

登山では霧で見えなかった。上高地では山や川がきれいだった。

10:10 松島先生：傘木さんにバトンタッチする。

<p>2 限 目</p>	<p>整理・共有</p>	<p>10:10 ワークショップ① 傘木： ・皆さんは上高地や乗鞍でいろいろな体験をしたと思う。 ・今日はそれを、ふるさとの山々に結び付けて考えていきたい。 ・皆さんの意見や考えていることが見えるようにカードに記入して出してほしい。</p> <div data-bbox="347 555 862 678" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・机に配られたカードにそれぞれ書き込み 青いカード：感じたこと 黄色いカード：気がついたこと</p> </div>  <p>10:40 傘木：他の班の人たちがどんなことを書いているか、見て回しましょう。</p>	<p>【主な意見】（「模造紙書き出し」シート参照） 青色カード： ・乗鞍はすごく寒かった。 ・雪がたくさんあった。 ・霧で見えなかった。 ・山頂までいけなかった。 ・コマクサが見れた。 ・キャンプファイヤーが楽しかった。 ・カレー作りが楽しかった。 ・上高地は景色がすごくきれいだった。 ・四賀にはない景色があった。 ・川の水がキレイだった。 ・魚がたくさん泳いでいた。 ・四賀にはない植物がたくさん見れた。 ・大きなカエルがいた。 ・なんだかんだと楽しかった。 黄色のカード： ・高度が上がると木が低くなる。 ・風穴はどうなっているのかと思った。 ・水が四賀よりきれいで冷たかった。 ・山の天気は変わりやすいとわかった。 ・上高地にはたくさんの生き物や植物がある。 ・四賀より気温は低い。 ・川の水が飲めた。 ・知らない植物がたくさんあった。 ・川の中に魚がたくさん泳いでいた。 ・外国人がたくさんいた。 ・標高が高くなるにつれて寒くなった。 ・大きな木がたくさんあった。 ・山は小さい植物が多かった。 ・山にゴミがあった。 ・上高地はゴミが少なかった。 ・トイレが有料だとはしなかった。 ・風穴からは涼しい風が出ていた。</p>
<p>休 憩</p>	<p>抽 出</p>	<p>10:40 10:55</p> <p>（講師間で後半の打合せ。）</p>	

10:55 傘木：3時限目を始めます。2時限目にみなさんから出されたカードについて、学校の先生方や外部講師の皆さんから、感想をいただく。



石塚さん：

- ・山頂に行けなくて悔しかったという気持ちをもって来てうれしい。また天気の良い時に乗鞍が見えるといい。
- ・上高地は天気が良かった。各班にガイドがついて歩いた。水がまずかったというのは興味深い感想。梓川の右岸と左岸では水の味が全然違う。山の岩石の中を流れるうちに水の味が変わる。普段飲んでいる水と味が違うことに気がついてくれた。
- ・紙にはなかったが、四賀と上高地の雰囲気が似ていると言った人がいる。両側に山があつて、もし上高地の真ん中に田んぼがあれば、よく似た風景になる。そこに気がついてくれた。

中澤先生：

- ・今は大学の先生だが、以前は、富士山のふもとの樹海でガイドをやっていた。
- ・皆さんは自然の中で泣いたことがあるか。私はある。アメリカで素晴らしい景色の中を走りながら、自然にほほに涙が伝っているのに気がついたことがある。心が洗われる時間というのを感じた。
- ・外国人が多かったということを書いたカードがあつた。人はなぜ自然の中に行きたがるのか。キャンプファイヤーが楽しかったという感想がある。人は自然の中に入ると解放的になったり、気持ちが変わることがある。アジヤをはじめとする外国の人たちがわざわざ上高地を訪れている。近くにこんな場所があるのは幸せ。
- ・今回乗鞍の天気が悪かったが、個人で行くときは、ここから山の方を見て、晴れているのを見て出かけることができる。これも地元の特権だと思う。
- ・ここにはたくさん宝があつて、それを大切な物と思っている人たちがたくさんいる。そんな価値を探してほしい。

傘木さん：

- ・風穴について書かれたカードがあつた。山の斜面に土砂崩れが起きて石がつもつたところに風穴ができる。
- ・石は熱を蓄える性質があるので、冷たい風が斜面を下って下の方に噴き出す。冷たい風が吹き出す所に昔の人は風穴小屋というのを作って、野菜の保存や、蚕の孵化調整を行った。
- ・全国に300ある風穴のうち100は長野県にある。
- ・この風穴で蚕の孵化調整を行い、農繁期に蚕が孵化するのを避けることで、長野県は全国一の養蚕王国になった。
- ・四賀でも養蚕が行われたと聞いているので、きっと風穴があるはず。

松島先生：

水がまずかったという感想と、四賀の水と違ってきれいだったという感想があつた。見た目と味は違うのかとか、四賀の水と比べてどういう違いがあるのかというところに疑問を持った。

吉田先生：

まだみんなは自然のないところというのをあまり経験したことが無いと思うので都会と四賀の違いは分からないと思うが、自分達の身近な地域のことを見直してくれたらうれしいかなと思う。

渡辺先生：

- ・ 上高地がきれいだったという感想があった。
なぜきれいだったと思う？ そう、自然が多いから。
自然が多いということは逆に言うと？ そう、人がいないということ。住んでる人がいなくて、田んぼや家が無い。
- なぜ田んぼや家が無いの？「分からない」。分かる人？ そう、住みにくいから。山は住みにくいのです。
- ・ 写真を配りましたが、この風景の中で日本と違うところは？ そう、山がはげ山。降水量が日本の10分の1しかない。
- 山には草も木も生えないのに、谷には一面麦が生えている。なぜだと思う？ [分からない]
- ・ これはチベットの写真。谷があるところには水がある。ヒマラヤ山脈の氷河から溶け出した水が少しずつ集まって細い流れになって川になった。この川の水を利用して2000年の昔から麦を栽培してきた。
- ・ わずかな水で広い谷を順番に潤していくためには、水争いをしては生きていけない。この緑の谷が2000年も続いたということは、争いをしない、生き物を殺さないというチベット仏教の信仰に従って人々が仲良く暮らしてきたという社会的な背景があるからだ。
- ・ 四賀の田んぼや畑に豊かな実りがあるということは、豊かな水と、豊かな土があるから。田んぼや畑が豊かなのは、実は山の森から水や栄養分が流れてきているということ。田んぼや畑が豊かだからたくさんの実りがあり、四賀には人や家がたくさんある。
- ・ 人は食べなければ生きていけない。日本は国土が狭いのに、人口は多い。これは、日本が豊かだったから。
- ・ 上高地のような自然だけがあっても人間は生きていけない。僕らが生きていくためには、村のなかに田んぼや畑があるというありふれた風景が必要。この緑の谷に、自然と社会との関わりがあることを分かってもらえたらいい。
- ・ 今、日本はたくさんの食物を輸入している。四賀は自給自足ができているだろうか、どのような社会の仕組みだったら、自然と上手くやっていけるのかということ、君たちのところで考えていただけるといいかなと思う。



11:20 ワークショップ②

傘木：学校の周りにはたくさんの自然があるが、この中でどんなことをりしたいか、勉強したいか、又は、なにかやってみたいか、ピンク色のカードに書き出して下さい。



傘木：

- ・ピンク色の紙に1人3つまで○を付けられます。
- ・自分以外の他の人のカードなかに「それ私もやってみよう」というのがあったら○を付けてみて下さい。

傘木：他の班の人たちがどんなことを書いているか見て回って下さい。

【主な意見】(シート「模造紙書き出し」参照)

ピンク色カード：

- ・松茸さがし！
- ・山登り、山で遊ぶ
- ・池を作って魚釣り
- ・放牧
- ・かくれんぼ
- ・サイクリングコース作りたい。
- ・長い滑り台
- ・大きいアスレチック
- ・動物と遊ぶ
- ・川遊びをする。
- ・ブランコ
- ・ターザン
- ・ツリーハウス作りたい。
- ・遊び場を増やしたい
- ・植物の種類を知りたい。
- ・動物の種類を知りたい。
- ・大きい店を作りたい。
- ・山菜狩りをしてみたい。
- ・山でキノコ狩りをしてみたい。
- ・自然を知りたい。
- ・高速道路や国道をふやしたい。
- ・観光客を増やしたい。
- ・ハンモックで寝たい。
- ・自然のなかでキャンプをしてみたい。
- ・山の自然の中でBBQやりたい。
- ・ロッククライミングをしたい。
- ・森林浴をしたい。
- ・四賀の自然を生活に使いたい。
- ・四賀の自然を有名にしたい。
- ・米作りしたい。

傘木：講師の先生や先生方に感想をいただきます。



傘木：最後に、乗鞍上高地の経験がよかったなと思う人は青い紙に理由と名前を書き、まあまあこんなものだったかなともうひとは黄色の紙に、良くなかったと言う人はピンクの紙に理由と名前を書いて、前に貼りだして下さい。

11:45

中澤先生

- ・松茸狩りをしたいというのは、ここ四賀だから出てくる言葉。あたりまえじゃない。皆さんの近くにアカマツが生えていて、手入れをしている人がいるから、松茸が生える。
- ・エネルギーがガソリンに変わってから、松茸が取れなくなったという統計がある。昔は炭焼きをして森に手を入れていたから松茸が取れたんです。
- ・森の中であそびたいと言うのも沢山あった。これも住んでいる人でないとできないことだと思う。いいところを満喫してほしい。

石塚さん

- ・国立公園として保護されている上高地ではできないことがたくさん出てきている。上高地では松茸狩りもできないし、ツリーハウス作りなんていうのもできない。できるのは森林浴ぐらい。
- ・標高の下ってきたところだからこそできることがある。

渡辺先生

- ・アスレチックやキャンプなど、この地区らしいなあと思うことがたくさん出ています。近くにある自然の中で遊びたい、走りまわりたい、体験したいというのは、皆さんの中に本能的にあるものだと思う。それが出ている。
- ・逆に、今はそれができていないということ。今日のワークショップで、住んでいる地域のこと、考えてもらえたと思う。

吉田先生

遊びたいこと、やってみたいこと、みんなの中でもできることとできないことを判別しながら、この地域の自然を生かしてみんながやれることを考えていければいいと思う。

松島先生

自然の中で遊びたいというのがいくつかあって、学校の中でもできるかなと思うものもあった。そういう気持ちがあるのはわかったので、上手くつないでいけたらいいと思う。

松本市会田中学校

生徒：2学年1組、2組（50人）

吉田先生（2学年主任）

松島先生（2年1組担任）

外部講師

渡辺 隆一（信州大学）

傘木 宏夫（NPO地域づくり工房 長野大学）

石塚 聡美（NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ）

中澤 朋代（松本大学）